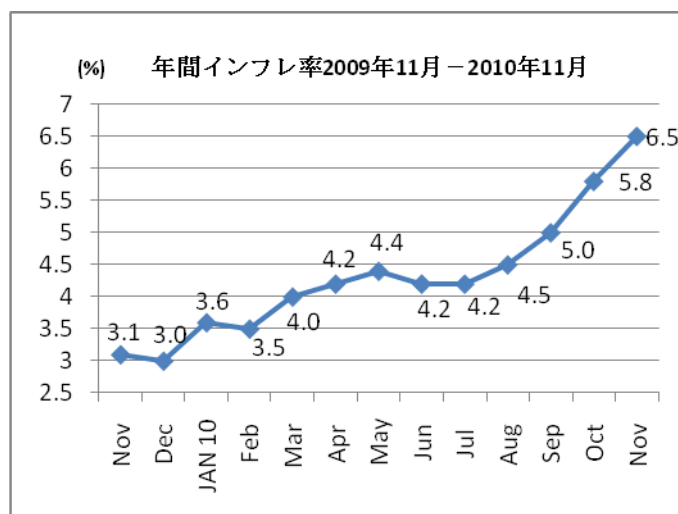
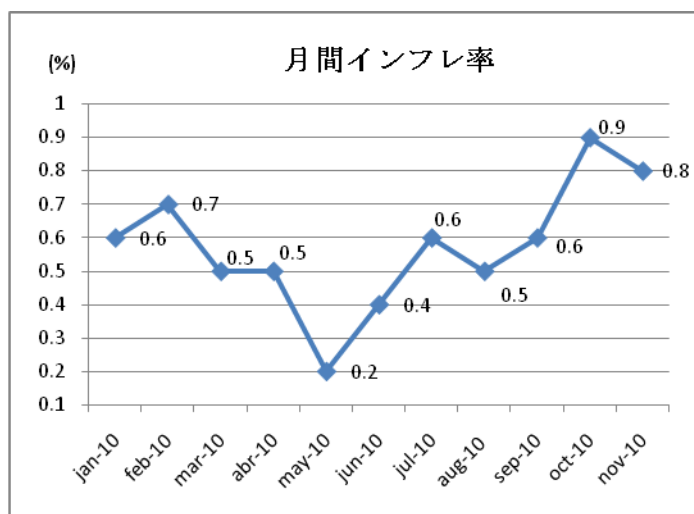


2010 年 10 -11 月経済統計（出典:ホンジュラス中央銀行）

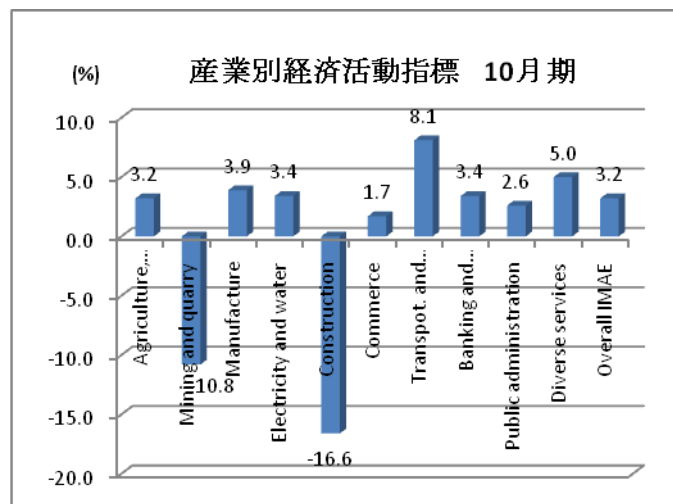
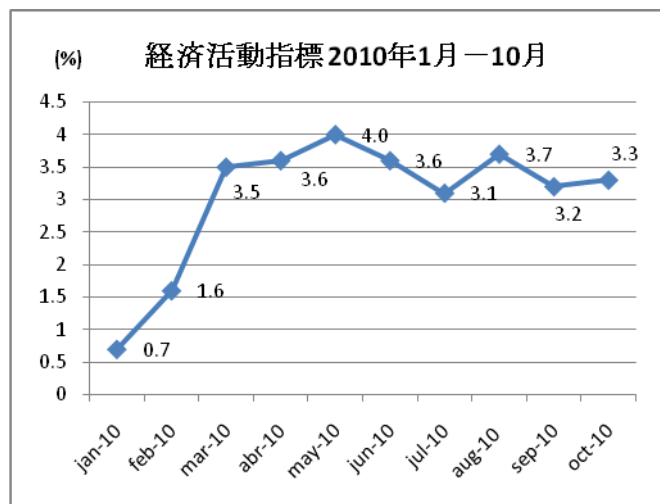
1. インフレ率

11 月期の月間インフレ率は 0.8%、1 月－11 月までの累積インフレ率は 6.5%、直近 12 ヶ月のインフレ率は 6.5%となった。赤インゲン豆の供給不足と便乗値上げによる価格急上昇により、食品・ノンアルコール産業の年率インフレが 8.6%に上ったことが大きく影響した。



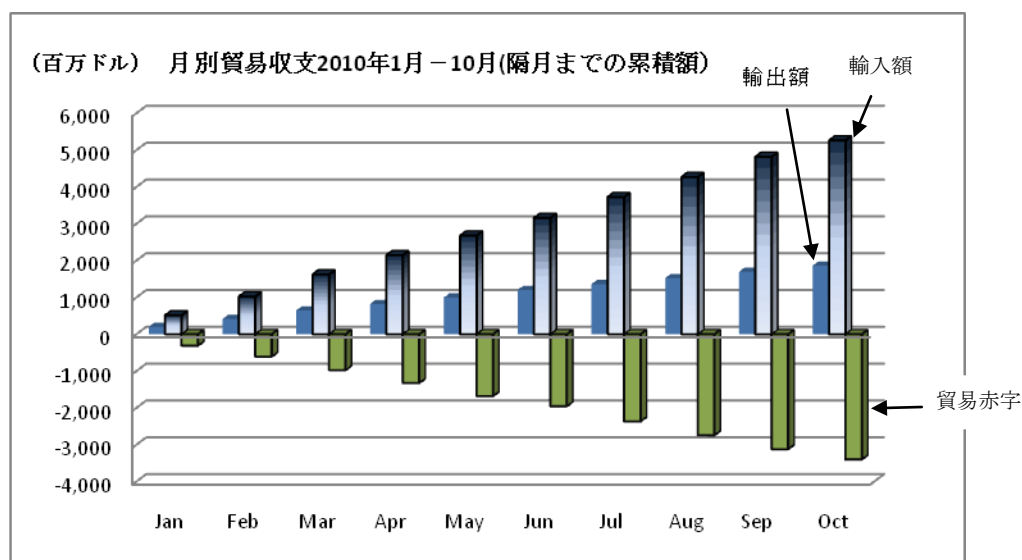
2. 月間経済活動指標

10 年 10 月期の経済活動指標は 3.3%で、3.5%のマイナス成長を記録した昨年同期を大きく上回った。農林水産業 3.2%、運輸・通信 8.1%、貿易 1.7%、製造業 3.9%各々前年同期比増となった。これは、米国の農産物品、マキア製品に対する高い需要、及び携帯電話業界の活況に起因する。他方、建設業は 16.6%減、鉱工業は 10.8%減と引き続き大幅に落ち込んでいる。これは、住宅建設需要の減少による。



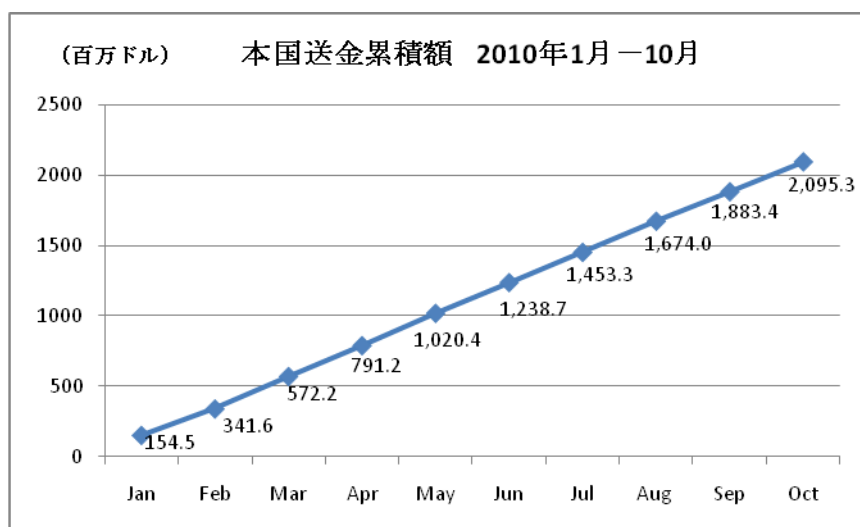
3. 貿易収支

1月－10月期の輸出額は、18億6,300万米ドル。主に、農水産品（コーヒー、バナナ）、マキラ衣料品を輸出。10月期の輸入額は、52億6,100万米ドル。主に消費財、燃料を輸入。貿易赤字は、33億9,800万米ドル。



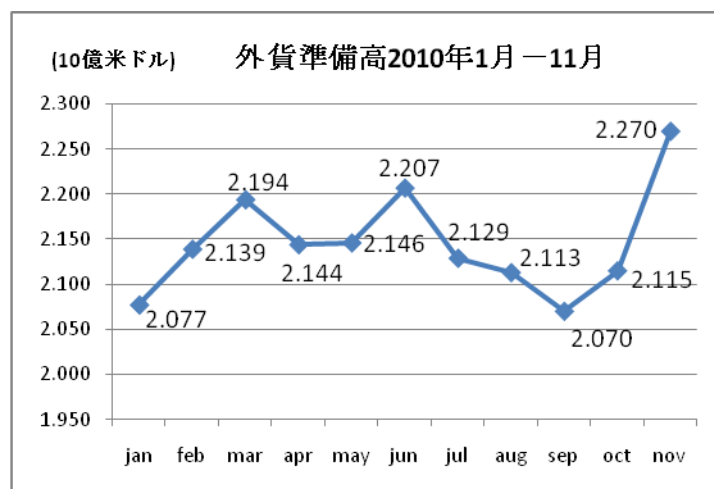
4. 本国送金

1月－10月期の本国送金累積額は20億9,500万米ドル。米国経済の回復が鈍くなっていることから今後数ヶ月の送金額大幅な増加は見込まれにくい。



5. 外貨準備高

11月期の外貨準備高は、22億7,000万米ドルとなった（2010年における最高値）。2009年末時と比べて1億5,400万米ドル増。



6. 銀行流動性

11月期のレンピラによる流動性資金総額は、19億1,800万米ドル、外貨による流動性資金総額は10億8,500万米ドルであった。信用枠の引き締めにより、銀行は流動性資産を蓄積する貸し渋りの状態となっている。

